

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・10月くらいから葬儀が増えてきているが、その内容も変わってきて、寺の人を呼ばずにお別れの会だけをするという方が増えている。考え方が変わり始めているようである。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・1月11日以降、Go To Travelが地方では解禁となる。これでまた、10～11月のように宿泊客が増えていくのではないかと。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響が懸念されるが、感染予防施策を徹底しながら、HP、メールマガジン、SNS等での情報発信を強化し、イベント実施などによる集客施策の効果で、多くの客の来園を期待する。
	○	設計事務所（経営者）	・社員だけでは手が足りないので、下請に出す仕事量が増えている。
	○	住宅販売会社（経営者）	・東京からの避難目的で当県への移住の動きがあり、別荘需要も高まっている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、今後売上を伸ばしていくためには、イベント、営業活動等を変えていかなくてはならないのではないかと。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で最悪だったときよりは、徐々に戻ってきてはいるものの、以前のような状況にはまだならないと思うので、現状の推移を続けるのではないかと。
	□	百貨店（店長）	・百貨店の顧客は比較的高齢者が多く、新型コロナウイルスが収束しないと、なかなか買物には来店しないのではないかと。
	□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスと降雪の影響がある。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの関係で、最悪の状況になっていくと思う。若干でも良くなるか悪くなるかは、今後の状況次第だが、何とも読めるような状態ではない。客の様子もふだんとは全く違い、本当に状況が見えてこないで、余り変わらない。
	□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの収束と人の往来が従来どおりにならないと、景気は回復しない。
	□	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大からの収束が見通せず、新車販売の回復は楽観視できない。
	□	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束がみられず、ワクチンの有効性や投与開始時期は不透明で、投与が開始されても国民全体に行き渡るのが、いつになるか分からない。
	□	スナック（経営者）	・もう、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるまでは良くなると思うので、なるべく早く接種を始めてほしい。今の状態があと1年続いたら、店は潰れる。当店は持ち家の家族経営でこの状態なので、普通の店なら半年でも厳しいと思う。何とかしてほしい。
	□	タクシー運転手	・この地域で新型コロナウイルスの患者が発生すれば、売上がぐっと落ちる。このところは平行しており、今月は前年比70%ギリギリのところである。
	□	観光名所（職員）	・降雪が早く、周辺スキー場は早々に営業を開始できているものの、日帰り客が多く、宿泊施設にお金が落ちない。
	▲	商店街（代表者）	・最繁忙期の年末年始が消えてしまった。これを取り戻すのは容易なことではない。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方でも新型コロナウイルスの感染者が増えており、自粛ムードが見られるようになってきている。人が動かないことには、物の動きは制限されてしまう。業種的にもますます厳しくなる。消費者の購買意欲も沈滞している。新生活の始まりを目前にして、全く先が見えてこない。
	▲	スーパー（経営者）	・ボーナス減少、失業等の影響を懸念している。低価格競争に入る可能性がある。
	▲	スーパー（経営者）	・競合他社の広告チラシの販売価格が、下がってきている。
▲	スーパー（経営者）	・当地は観光県なので、スキー客が来ないと景気は良くはならない。回り回って自分の仕事にも影響が出てくる。	
▲	コンビニ（経営者）	・地域でのいろいろな会合や懇親会等がないことで、酒類の販売が落ちているので、総合的にみて、やや売上が厳しい。新型コロナウイルスの影響は非常に大きい。	

	▲	コンビニ（経営者）	・今年はこの店の売上は大きくは下がらなかったが、このところ県内でも多くの方が新型コロナウイルスに感染してきているので、今後は余り人が外出したりせず、景気は下がっていくのではないかと。
	▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のため、やや悪くなる。
	▲	自動車備品販売店（従業員）	・今は季節の変わり目で、季節商材の販売は好調だが、この先に特段大きな需要は見込めず、客足が遠のくものと考え、やや悪くなる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・ただでさえ来客が冷え込むなか、新型コロナウイルスの変異種が発見されるなど、明るいニュースが1つも無い。都会での無責任な行動による感染者の拡大で、地方は自粛ムードだけが漂い、大きな打撃を受けている。
	▲	都市型ホテル（支配人）	・好評だったGo To Travel事業の期間延長が発表されたにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一時停止された事業の再開が不透明である。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・予約のキャンセルは出るものの、受注はほぼなくなっている。明らかに自粛の雰囲気が高まっていることが要因である。突然、良い方向に向かうことはないので、少しずつ回復することを望むが、現在の予約状況からみても、受注は悪化している。
	▲	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で左右されるが、感染前のように戻るまでには時間が必要だと考える。感染収束後、すぐに顧客が戻ってくることは考えにくく、その間、旅行消費は減少すると思われるため、景気は低迷する。
	▲	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が地方まで波及し、年末年始だけでなく1月以降も不安が残り、厳しさは一層増していく。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・降雪の多い隣県からの来場者もあるが、予約は県内顧客が主流で、年末年始、土日祝日予約が多く、平日は弱い。
	×	商店街（代表者）	・いつもなら正月明けの3学期が始まる前には、学校指定のシューズや体育用品がかなり出るが、今の状態からすると、どうなるか先が見えず、不安で仕方がない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の再拡大で、年末のGo Toキャンペーンが一時停止となり、先行きが見えない。ワクチン接種が始まるまでは下降線をたどるのではないかと。
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が以前よりも一層増えたため、来客数が極端に減っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・このまま、新型コロナウイルスの収束がみられなければ、景気は良くならない。
	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・飲食店は本当にひどい状況だが、今は年末なので、個人客が増えて、売上も前年までは至らないが、順調である。ただ、3か月後となると、まだ新型コロナウイルスのワクチンも打たれていないわけではなく、早く2月という話だし、非常に悲観的ではないかと。1月はおそらく買い控えもあるだろうし、2～3月で新型コロナウイルスが収束しているとは思えない。3月以降は非常に厳しくなると予測している。
	×	スナック（経営者）	・誰のせいでもないが、やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。本当に先が見えず、困っている。何か良い方法はないかとも思っているが、諦めるのは残念だが、ここしばらくはちょっと我慢をするしかないと思っている。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスがある程度収まっていれば、2月以降のGo To Travelキャンペーンについてそろそろ情報が出てくる頃だが、今回の第3波によりGo To Travelの延長議論すらできない状況である。Go To再開予定の1月12～31日でさえ、人の動きが少ない上に、Go Toが終わる2月以降は予約帳が真っ白の状態が続いている。
	×	ゴルフ場（経営者）	・どうしたら経済を回したと言えるのかという成功の定義を明確化してもらいたい。新型コロナウイルスの感染が落ち着いている地域の経済は、他地域からウイルスが持ち込まれない限り、自然に回るものだと考えている。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染者数が増えていけば、客足は更に遠のいてしまう。今後の感染状況次第で動きは変わってくる。
企業	◎	—	—

動向 関連 (甲信越)	○	金融業（経営企画担当）	・ワクチンの進捗や接種開始時期、新型コロナウイルスの収束状況に左右されるが、全国的に自粛等が解除され正常に向かうようなら、景気は上向く。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・事業をワークショップ中心に転換し、様子見をしているが、新型コロナウイルス禍での自粛規制等が影響し、先行きは見通せない。オンライン、リモートで可能な展開を模索している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・受注に関しては、大きな変動がないと見込んでいる。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・今月は一時的に仕事量が増えたが、例年に比べれば減っている。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は半導体や自動車関連で持ち直しているが、全体の動きは鈍い見通しである。非製造業も新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、先行き不透明感が高まっており、厳しい状況に変化はない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・科学的根拠はないが、これから乾燥する時期が続き、新型コロナウイルスの感染も劇的に少なくなるとは予想しにくいことから、経済へのダメージは今後も続く。
	▲	食料品製造業（営業統括）	・首都圏では新型コロナウイルスの感染が拡大して、緊急事態宣言も出されそうな状況で、酒類関係の伸びは期待できず、大変苦しい環境が今後とも続くと考えられる。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・12月が1年で最大の売上となること、変異した新型コロナウイルスも発生したことで、今以上に外出制限が掛かると予想される等、今後の良化する材料が見つけにくい。
	▲	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長く続いている上、ワクチンの成果が見えてこない。景気の先行きはやや悪くなる。
	×	食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルスの影響で、一層外出規制がかかり、ただでさえ半分程度の売上が更に落ち込んでくる。今までは、知らない人が新型コロナウイルスの感染者だったが、今では知り合いの知り合いが、という感じに感染が身近になっているので、外出はできないようになる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・イベント等がなくなって、印刷物もほとんどなくなっている。来年の予算取りも、案件が大変少ないと感じている。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・海外との渡航制限から中国人バイヤーの来日時期はまだまだ未定で、宝飾業界にとって大きな痛手である。国内の宝石店舗では客の来店が遠のいており、売上ダウンが続いている。11～12月はイベントで集客できたが、新型コロナウイルス感染者数増加から、1月以降、当面はイベントの開催が難しい。新製品を見せる機会がないことや、金価格の上昇のため、在庫品と新製品の価格差が大きく、仕入意欲が湧かない。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス禍やインフルエンザの流行動向次第で、何ともいえない。ただし、コロナのワクチン接種が始まることもあり、多少でも現在の閉塞した状況が改善していくのではないかと。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・年末年始に向けても変わらず、ボーナス支給のない企業も増えたため、購買意欲は湧かない。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・現状、新型コロナウイルス感染者が増えてきており、先行き是不透明である。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス禍による飲食、宿泊業への影響が見通せないが、周辺企業に対するヒアリングでは、製造業や小売業を中心に、生産や売上が伸びるまではいかないものの、現状維持できるとする企業が多い。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスが経済に大きな影響を及ぼしており、企業マインドが大きく冷え込んでいる。早期の収束方向がはっきりしない限り、状況に変化がみられない。人口10万人当たりの新規感染者が15人を上回る地域では、求職者に対する警戒感が強まっている。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波により、どうしても経済活動は停滞する。
×	—	—	